



Shikoku  
Cancer Center News  
No.93

独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター

# 四国がんセンター ニュース



2026  
冬の号

基本理念 患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(久万高原町 面河溪 撮影: 俊野 健治)

## 2026年に向けて

大きく変わろうとする社会の中で、皆さんは新年をどのようにお迎えされているでしょうか？近年、医療を取り巻く環境は目覚ましいスピードで変化しています。診断技術や治療の進歩により、様々な分野のがん治療成績は向上してきており、患者さんにとって大きな希望となっています。多くの進行したがんでは、がんゲノム検査（がん発症のきっかけとなる遺伝子の変化を見つける検査）結果に基づいた薬物療法で、遠隔転移のない局所進行がんであっても術前後の薬物療法により、従来のような大きな切開手術でなく小さな傷の低侵襲手術も可能になりつつあります。たとえ遠隔転移がある進行したがんであっても、効果的な薬剤を継続的に使用し長生きでき、社会的活動も継続される方も増えてきています。このように適切な治療によりがんと共に長生きされる方が増えて、今まであまり注目されなかった問題点（治療の長期化や副作用、費用負担、就労といった社会生活に及ぶ療養生活の質の向上）も注目され、対策を行っています。

一方で、私たち医療者はがんの病状や治療に対する不安や戸惑いに、私たち医療者はしっかりと対応できているでしょうか？がんに関する情報が氾濫し、正しい治療の情報が届きにくい事態も起こったりして混乱する方もいらっしゃると思います。異常が見つかり「がんかもしれない」と言われた際に、不安になるのはだれしも同じです。病状を的確に把握し、適切な治療につながるために、私たちは迅速に検査を計画し少しでも早く患者さんやご家族の不安を軽減するよう取り組んでいます。当院の地域連携室では紹介連絡いただいた施設への受信日の返事を、営業時間内であれば20分以内にお知らせする体制を整えています。受信当日には専門医が必要な精密検査の説明をし、約2週間を目安に方針決定が行えるよう（患者さんの併存疾患や病状により異なる場合があります）取り組んでいます。そのためには患者さん・ご家族の御協力調整もお願いすることがあります。

また、患者・家族相談支援センターでは、こういった精密検査結果までの心配や相談事に、医師・看護師と連携し多職種のスタッフが様々な対応ができる体制を整えておりますので、お気

軽にご利用ください。検査・治療に向けた準備の注意点の説明や、がんと言われ治療が始まる前からお仕事や社会の役割をあきらめるのではなく、適切な治療により元の日常に近い状態でお仕事や社会活動を行えるような工夫など様々な視点で相談できます。がんの診断がつく前にお仕事を辞めたり、あきらめる方が半分以上というデータもあります。働きながら治療を継続する方も多く、治療中や治療後の患者さんの生活の質にも重点を置き、高額となりがちな治療の継続や治療後も患者さんが自分らしくあるための社会生活も見据えた、『トータルケア』を目指して共に考えています。

男性に最も多い前立腺がんの革新的治療法とその検査が認可され、昨年12月から治療に向けた外来（PSMA-PET CT）が開始になりました。この検査は、前立腺がん転移性去勢抵抗性の検査で、愛媛県では唯一当院だけで行なえる検査です。その治療は、放射性リガンド療法という新たな放射線治療の一種で、副作用が少なく治療効果が高いため日本でも導入された治療です。数日の間は放射線による活動制限のため個室で過す必要がありますが、2月から当院でも開始します。今後新たに広がる治療手段として期待されています。このほか、早期の乳がんでは切らずに治療するRFA（ラジオ波による腫瘍焼灼）治療や、遺伝性家族性腫瘍に対する治療や、遺伝性がん診療科ではサーベイランス検査・診療と相談・カウンセリングも行うなど、トータルケアを目指し、がんを患う患者さんに最新で最善の治療をお届けできるよう努めております。

患者さんが「がんになっても安心して生活して暮せる地域社会」を目指して、職員にとっては「専門性を発揮し、互いに支え合える職場」であることを目標に、私達はこれからも歩みを止めることなく進化してまいります。本年も変わらず今まで以上の、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(四国がんセンター院長 山下 素弘)





# がん治療

# 最前線

## がんゲノム医療(エキスパートパネル)

がん治療は今、「どの臓器のがんか」だけでなく、「がんがどのような遺伝子変化を持つか」に基づいて治療を選ぶ時代へと進化しています。こうした遺伝子の情報をもとに、主にがん薬物療法（抗がん薬・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬など）の選択に役立つ医療が、がん遺伝子パネル検査を活用したがんゲノム医療です。四国がんセンターは、四国で唯一のがんゲノム医療拠点病院として、地域の高度ながん医療を支える役割を担っています。

がん遺伝子パネル検査は、一定の条件を満たした患者さんでは保険診療として受けることができます。検査は国が指定したがんゲノム医療拠点病院や連携病院で実施され、地域の医療機関で治療中の患者さんも、必要に応じて拠点病院と連携しながら検査や結果説明を受けることが可能です。

その中核となる仕組みが、エキスパートパネル(多職種検討会)です。専門診療科医師、病理医、遺伝医療の専門医、遺伝カウンセラー、薬剤師、看護師などが参加し、見つかった遺伝子の変化が薬物療法の選択にどう関わるか、使用可能な薬の候補、治験・臨床試験の有無、今後の進め方までを多角的に検討します。



また、ときに生まれつき受け継いだ体質（遺伝）に関わる手がかりが見つかることがあります。こうした場合には、遺伝医療の専門医や遺伝カウンセラーなどが関わり、必要に応じて遺伝カウンセリングや関連診療科と連携し、患者さんご家族が安心して理解・判断できるよう支援しています。

2025年からは血液腫瘍を対象としたゲノム医療パネルも開始しました。白血病やリンパ腫、多発性骨髄腫などでは遺伝子の情報が治療方針の決定に重要な役割を果たします。

ゲノム医療は、検査を受けることが目的ではありません。結果を正しく読み解き、患者さん一人ひとりにとって最適な治療につなげることが重要です。当院は、四国唯一の拠点病院として、最新の知見を地域に還元し続け、がん治療の「最前線」を患者さんに届けてまいります。

(臨床研究センター長 仁科 智裕)



# 治験 CHIKEN CORNER

ちけん

## 「当院では治験を実施しています」

こちらは、治験・臨床試験支援室です。このコーナーでは、ただ今、参加者募集中の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。



[https://shikoku-cc.hosp.go.jp/rinsyo/trial/clinical\\_trial\\_during\\_the\\_experiment/](https://shikoku-cc.hosp.go.jp/rinsyo/trial/clinical_trial_during_the_experiment/)

### ●現在参加者募集中の治験等情報

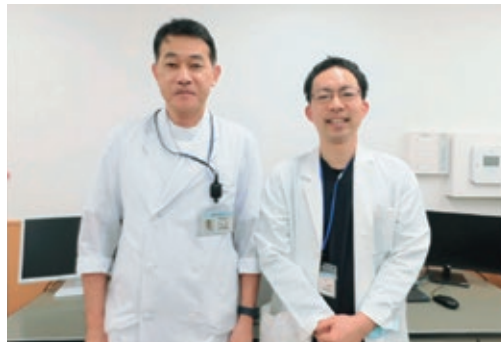
下記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在参加者募集中の治験等情報」です。

- |               |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| ●肺がん……………18件  | ●子宮頸がん……………1件 | ●食道がん……………1件  | ●頭頸部がん……………1件 |
| ●乳がん……………5件   | ●胃がん……………4件   | ●リンパ腫……………3件  | ●固形がん……………10件 |
| ●卵巣がん……………4件  | ●大腸がん……………4件  | ●前立腺がん……………5件 | (令和8年1月5日現在)  |
| ●子宮体がん……………3件 | ●胆道がん……………1件  | ●膀胱がん……………1件  |               |

整形外科は一般的に腰痛や関節痛、骨折、腱鞘炎など運動器（筋肉、骨、関節、末梢神経、靭帯など）に関する外傷や障害に対し診断治療を行う診療科です。当院の整形外科では、運動器に発生した腫瘍を専門に診療を行っており、骨軟部腫瘍という文言を添えて標榜しています。軟部とは脂肪や靭帯などの結合組織、末梢神経、血管などの総称で、当科では軟部組織に骨、軟骨を含め、皮膚、内臓器を除いた四肢や体幹に発生した腫瘍（悪性の場合のがんの中でも肉腫（サルコーマ）と呼ばれる）を専門として診断、治療を行っています。肉腫は稀少（人口10万に対し年間6例未満の発症）であるが故に保険診療で使用できる薬剤も他の癌とくらべ種類が限られており、当科では治療の選択肢を増やせるよう積極的にがんゲノム検査を患者さんにお勧めしています。骨軟部腫瘍としてご紹介いただいている患者さんの大多数は良性腫瘍である場合が多く、肉腫と診断されるケースは少ないのですが、診断名は細かなものまで含めると骨軟部腫瘍として約100種類に分類されています。各々で経過や治療法が異なるため、専門性の高い領域と言えます。

この他、肺癌、乳癌、前立腺癌などの癌が骨へ転移した場合、転移した癌が骨を破壊したり、脊髄を圧迫することで骨折や脊髄損傷などを来すことがあります。当院では癌の治療を行っている患者さんは殆どの方が定期的にCTなどの画像検査が行われていて、骨の状況も確認することで骨折や麻痺などのリスク評価を行い、症状が出現する前に放射線治療を行うシステムも構築しており、患者さんの日常生活に支障を来さないよう全国的にも一歩進んだ骨転移診療を行っています。

（骨軟部腫瘍・整形外科医長 杉原 進介）



## エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.69

### ボランティア活動について

今、ボランティアは、2024年においては、26年間続いたグリーンボランティアの活動を止め、2025年には、クリスマスツリーの飾り付けが28年目で最後となりました。原因はボランティアの高齢化と減少化です。どちらの活動も、長く続けてきたので、患者さんや病院スタッフとの楽しい思い出が残っており、残念ではありますが、時代の流れには逆らえません。

ボランティアがいらないわけではなく、お仕事をしながら空いている時間を奉仕していただける方が増えてきたということもあります。

「出来る事を出来る範囲で無理なく楽しく活動」が、今の「グループ」ふれ愛のモットーです。現在は、院内の活動のみとなっております。

移動図書は毎週水曜日午後、入院病棟のエレベーターホール前で患者さんに各種本や音楽・落語・漫才・文学集等のCDの貸出をしています。

ガイド活動は毎日月曜日～金曜日玄関ホールで、外来患者さんに寄り添っています。

暑い日も寒い日も「おはようございます！」の言葉で患者さんを応援しています。

縫製ボランティアはお仕事の合間にケア帽子作成をしてくださる方が入会してくださり、脱毛で辛い患者さんを励ましています。又、可愛い折り紙で患者さんを癒して下さる方もいて、私達ボランティアが橋渡し役をしています。



長く活動をしている私達ですが、人が人を想う心に嬉しく救われます。ボランティア活動の継続が厳しくなってきましたが、もう少し頑張ってみようとおもいます。

（病院ボランティア グループふれ愛 代表 塚野 加代）





## 今年も開催します！

# AYA week2026 応援フラッグ & AYA+40歳代サロン

がんセンターでは、AYA+（プラス）支援チームがAYA世代の患者さんと40歳代の患者さんの支援活動を行っています。「AYA（アヤ）世代」とは、主に15歳～39歳までの年齢を指しています。この年代にがんを経験した場合、病気だけでなく、学業や仕事、結婚や子ども、外見のことなど、この時期特有の悩みを抱えることは少なくありません。当院ではAYA+（プラス）として40歳前半も支援の対象としています。コアチームメンバーは、高橋（乳腺外科医師）、井上（心理療法師）、宮脇（がん看護専門看護師）、松本（がん専門薬剤師）、関木（医療ソーシャルワーカー）、山崎（暖だん看護師）、福島（暖だん室長）の7名です。昨年度、啓発活動のためのロゴマークを公募し、ご応募いただいた13作品の中から公平且つ厳選なるみなさんの投票で愛媛県在住の森棟俊仁さんのロゴマークに決定いたしました。東京、京都、岡山、愛媛の10歳代から70歳代の方まで本当に沢山の方々にご応募いただきありがとうございます。秋には、ロゴマーク発表セレモニーを当院ロビーで開催し、森棟さん（右写真上段右から2番目）への表彰状授与を行った後、AYA+支援ロゴマーク缶バッジを参加者へプレゼントしました。この缶バッジをつけている



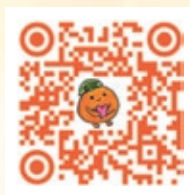
みなさんは、AYA+（プラス）40歳代患者さんの応援団です！これからも、当院にはAYA世代を支援しているチームがあることを発信していきたいと思っておりますのでご協力ください。

そして、今年も全国で開催される「AYA week 2026応援フラッグ企画」に当院も参加しています。昨年から大幅に参加部署が広がり、AYA世代+40歳代のみなさんへの応援メッセージが沢山集まりました。部署ごとにロゴマークをかたどったハートを手にフォト撮影にも協力いただきました。3月16日（月）まで2階エレベーター横・SCC未来ギャラリーにて

展示していますので是非ご覧ください。

今年度2回目の「AYA世代サロン」を3月12日（木）14時00分～15時00分に暖だんで開催します。チームのコアメンバーも参加します。なかなか同世代の仲間とお話する機会も少ないと思っておりますので、どうぞご参加ください。

その他、暖だんではさまざまなイベント・セミナー企画を開催しております。下記二次元コードからご確認ください。お待ちしております。



（患者・家族総合支援室 暖だん 室長 福島 美幸）

2025年度 憩いのサロン

A  
Y  
A

15歳～39歳  
プラス40歳代の方

ちょっとおしゃべり  
しませんか？

「同世代の人はみんなどうしてるんだろう？」  
そう思ったことはありませんか？  
多くのライフイベントの中を過ごしている  
AYA世代（若年期から若年成人）のみなさんと、  
病氣と向き合いながらも日々考えていることなどを  
気軽に話し合ってみませんか？

日時：2026年 **3月12日（木）**  
**14時00分～15時00分**

対象：15歳～40歳代のがん患者さん  
※40歳代がんセンターを受診されていない方も参加OK！

場所：四国がんセンター  
患者・家族総合支援センター「暖だん  
憩いのひろば」

内容：同世代の仲間や医療者を交えての  
お話し会

参加費無料

※7.10月に当院「AYA+支援チーム」の  
ロゴマークが誕生しました！

「医療・問い合わせ」四国がんセンター 患者・家族総合支援室 暖だん TEL：089-999-1209

# 📧 がんセンターだより

## クリスマスコンサート

12月18日（木）にクリスマスコンサートを開催しました。

この催しは、入院患者さんに少しでも楽しいひと時を過ごしていただこうと、毎年開催しております。

院内保育園の子供たちの歌や踊りがすごくかわいく、患者さんも笑みをうかべ、とても楽しそうにしている様子がうかがえました。

続いてボランティア団体の方々へのトーンチャイムの演奏、ピアノ演奏、オーボエ演奏など、クリスマスにちなんだ音楽を演奏していただきました。素晴らしい音色が2階外来ホールに響き幸せな気持ちになりました。患者さんも同じ気持ちで聞いていたと思います。

又、この様子は病室内のテレビで視聴でき、会場に会場できない患者さんにも、季節を感じていただけたのではないのでしょうか。



イベント開催にあたり準備等に関わってくださったスタッフの方々、無事開催できたことを心より御礼申し上げます。

（5東師長 村上 美智恵）



## 治療中の働き方に関する相談を実施しています！

～就職・就労相談状況のご報告～ 平成29年4月～令和7年12月

《新しく仕事を探している方のための就職相談》

相談延べ人数 950人 就職延べ件数 151件

《仕事を続けたい方のための就労相談》

相談延べ件数 126件

相談者の声

「病院で仕事の相談ができると思わなかった」  
「話ができ、気持ちが楽になった」  
「病気になる私でも、できる事があると思えた」

治療と仕事の両立支援



四国がんセンターは、がん患者さんの“働きたい！”をサポートしています。お気軽に、スタッフまでお声掛けください。

ちりょうさ

厚生労働省「治療と仕事の両立支援」キャラクター

【お問い合わせ】がん相談支援センター TEL:089-999-1114

# 医者のつづき リレーエッセイ



## ●第三十三回 職業病と認めるのはちょっと良いところと誤解している時だけ

職業は良くも悪くも個性と硬く結びつく。専門性が高くなおさらだ。

最近、職場の昼飯を仕出し弁当にした。顕著なお腹の成長が気になるので名前に引っ張られてヘルシー弁当を頼む。ヘルシーなのだから、おかずメイン3品のうち酢の物2品で、肉類1品がちょっとなのは仕方ない。食べ終わってもちょっとお腹が空いた状態なのも仕方ない。肉や魚用のソースが『味ソース』と言う名前なのも、仕方な……いや、それは許せない！



病理医の私は、顕微鏡で見て病気の本質に出来るだけ近づき、それに見合う名前をつけることを職業としている。

そもそも名前というものは、ものを区別するためにある。『味ソース』と言う名前が**名前の概念**に従ったものであれば、『味の無いソース』と区別するためのものに違いない……が、そんなものはない。ソースは“おおもと・根源”という意味もあるが、勿論“AJINOMOTO”でもない。

有名な四川料理のソースが略称で『味ソー』と呼ばれるから、もしかしたら味ソースも『味ソー』と『ス』なのかもしれない。とすると、『味ソー』の『サ』は砂糖、『シ』は塩、『セ』は醤油、『ソ』は味噌。弁当についている味ソー『ス』をか

けるとのこり1品の肉類が3つめの酢の物になってしまう……それだけは認められない。

ここまでが私の職業病だ。

昨秋、JICAを通じて、マイクロネシアの検査技師を一人、研修生として2週間迎え入れた。マイクロネシアと日本との遠隔病理診断をするためには、現地で堅実に病理検体を処理したり、標本を作ったり、日本にデジタル画像を送ったりできる検査技師が必要だ。スタッフ総出で英会話教室を開き、身振り手振りの練習もして研修に臨んだ。彼女は検査技師としての経験は少ないが、マイクロネシアで唯一人の食品衛生検査所の職員をしているからか、検査というものになじみがあるようで、実習の1ステップ毎を着実に飲み込んでいった。私達にも世界に触れる良い経験だった。

マイクロネシアと言えば周りを完全に海に囲まれた南洋の島嶼国家である。陸上には野良犬以外の野生動物や家畜はいない。牛肉は全部輸入だが、魚は捕れる。『魚が好き、寿司も好き』というので、研修2日目に回る寿司屋でウェルカムパーティーをした。皆御機嫌ではじまったのだが、エビを食べたらパタッと箸が止まった。

“Is this cooked?”

火が入ってるかどうか、気になるらしい。

『日本では加熱していない魚が普通に食べられるし、落ちても5秒以内は食べて良いという法律になっている』と指導したのだが、“I'm finished (満腹だ)”とことわられた。

最終日には打ち上げて焼き肉屋に行ったが、ウェルダンだった。ユツケは食べない。国の食品衛生に責任がある食品衛生検査所員の職業病だ。帰国後は、病理検査技師が主な仕事になったそうだ。よかった。

でも、1年前にマイクロネシアに行った時、現地の寿司を食べたが……ま、これまで食中毒の心配が私の職業の範囲内だったことはない。

(このエッセイはフィクションです。四川料理のソース以外のいかなる実在の食物・食事マナーに関係ありません)

(病理科医長 寺本 典弘)



知っている人は知っている。知らない人は覚えてね。冬にも土用の日があります。

そもそも土用というのは、古代中国で生まれた五行説と陰陽説を組み合わせた「陰陽五行説」を由来とした暦の雑節(ざっせつ)です。土旺用事(どおうようじ)の略であり「土の気が旺(さかん)になり事をううる」という意味になります。これは「土」が物を変化させる作用を持っているとされており、さらに「用」が「働き」という意味になるため、その土の気が盛んになる期間を指しているのだそうです。

「土用の日」はうなぎを食べる夏場の丑の土用が有名です

が立春、立夏、立秋、立冬の前の18日間(19日の場合もあり)、年に4回の春、夏、秋、冬と季節ごとにあり、冬の土用は未(ひつじ)の日が重要視され、「ひ」のつく食べ物や赤い食べ物を食べると良いとされています。2026年の冬土用の期間は1月17日(土)から2月3日(火)の間。2026年の寒土用、冬の土用は未の日で1月21日(水)2月2日(月)です。

「ひ」のつく食べ物なら、ヒラメ、ヒラマサ、干物、ひじき、ピーマン、ひき肉など。

「赤い」食べ物ならマグロ、鮭、トマト、パプリカ、にんじん、いちご、りんご、ラディッシュ、レッドオニオン、牛肉、唐辛子など。

縁起物とはいえ体調不良の時に身体に合わないものを無理して食べては逆効果です。まずは体調を優先で。次にお財布と相談しながら縁起物を生活に取り入れて楽しんでいけると良いですね。

(栄養管理室長 酒永 智子)

# がんセンター ハイ!一句 俳句ポスト



作品が選ばれましたら、四国がんセンターニュース（年4回発行）と選者発行の「俳句ライフマガジン『100年俳句計画』」（隔月誌）へ掲載するほか、当院ホームページ等インターネットやテレビ、ラジオなどの各種媒体にてご紹介させていただきます。



選者：三瀬明子(俳句ライフマガジン「100年俳句計画」発行人)



## 八月や心にいつも若き父

(山花さん 81歳・女性)

上五の「八月や」は、八月なんだなぁという詠嘆で、しみじみと考えさせられます。「八月」には終戦、お盆などのイメージが内包されています。若いころの姿の父が心にずっとある、ということは、お父様は若くして亡くなられ、その理由は、戦争かもしれません。おりしも2025年は、戦後80年という節目でした。同時投句の「懸命の八十年や流れ星」からも思いが伝わります。

## 入選 はや師走数独楽し人生は

(黒河進さん 91歳・男性)

「はや師走」に実感があります。没頭したらあっという間に時間が過ぎる数独。人生は数字合わせ、という意図なのかなとも感じました。

## 入選 棒高バー越しに見る稲穂かな

(吉本茂展さん 84歳・男性)

棒高跳びを経験したことがないのですが、バーを超える最中に景色を見渡す余裕があるのかなのか、などを想像し、楽しくなりました。のどかな風景の競技場です。

## 入選 再びの命拾いで師走かな

(櫻井宗博さん 82歳・男性)

師走という一年の節目だからこそ、そして「再び」ですから、生還の喜びが改めて感じられます。

## 入選 空蝉が風に吹かれて飛んで行き

(チカコさん 78歳・女性)

蝉の抜け殻の空蝉。空蝉が風に吹かれて転がってゆく様は虚しく、一抹の寂しさがあります。

## 入選 お接待がお節介なり久万もみじ

(茶花さん 69歳・女性)

シニカルなだけじゃれですね。「お接待」は四国へんろの文化であり心。しかしながら送り手、受け手で受け止め方の違うことも。紅葉の赤がしみます。

## 入選 がんセンター優しいナースありがとう

(横道さん 68歳・女性)

多くの患者さんが共感する一句。心細い入院(通院)生活、その優しさに救われます。

## 入選 秋桜がスローに踊る散歩道

(みいみさん 61歳・女性)

秋桜が風に揺れる様を「スローに踊る」とは、ヒットソングの歌詞のようで印象的です。

## 入選 窓の外知らん鳥来た嬉しすぎ

(俳句読民さん 41歳・女性)

思ったことを思ったとおりの言葉で書かれてあり、その口語の言い回しに親しみがわきます。

## 入選 波がきてとびうおが飛ぶ帰り道

(はるぼんさん・2歳・男子)

きっと、2歳のはるぼんさんの言葉をご家族が書き留めて生まれた一句なのでしょう。素敵な親子の時間を共有されていますね。



## 皆さんの「一句」募集中

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ！一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、患者支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科		月	火	水	木	金	
消化器	内科	食道・胃・大腸	梶原(化)	仁科(化)	仁科(化)	梶原(化)	小森(化)
			西出(内)	-	久門(内)	日野(化)	長谷部(内)
	外科	肝・胆・膵	大鶴	浅木	大野	△大鶴	浅木
		食道・胃	-	羽藤	-	柿下	-
呼吸器	内科	肝・胆・膵	東原	高津	-	池谷	-
			-	竹井	-	小嶋	-
	外科	内科	○加藤(有)	二宮	-	加藤(有)	☆大田
		内科新患	○近藤	○加藤(有)	-	○二宮	近藤
緩和ケア内科	内科	外	土生	上野	担当医	重松	
		禁煙外来	-	-	-	○末久	重松
	泌尿器科	末久	成本	成本	三浦(耕)	三浦(耕)	
		橋根	担当医	橋根	担当医	瀨戸	
血液腫瘍内科	感染症・腫瘍内科	瀨戸	-	辻岡	-	辻岡	
		菅我部	-	菅我部/深谷	-	深谷	
	婦人科	水野	吉田	水野	吉田	-	
		○濱田	担当医	担当医	○濱田	担当医	
形成外科	乳腺外科	竹原/坂井	予 婦人科医師	竹原	予 婦人科医師	藤本/孤下	
		横山	-	藤本	-	坂井	
	頭頸科・甲状腺腫瘍科(耳鼻咽喉科)	日比野	-	孤下	-	横山/日比野	
		青儀	高嶋	高橋(三)	青儀	高嶋	
放射線	診断科	河内	高橋(三)	河内	山下(美)	宇野	
		-	山下(美)	△近藤(碧)	-	-	
	治療科	△山下(昌)	○山下(昌)	-	-	○山下(昌)	
		門田	担当医	門田	担当医	橋本/東野	
併存疾患センター	皮膚科	東野	-	橋本	-	岡	
		青木	-	青木/岡	-	増井/担当医	
	眼科	予 骨軟部腫瘍・整形外科	杉原	肉腫(サルコーマ)	杉原	-	杉原
		片山	片山	片山	-	片山	
麻酔/疼痛外来	歯科口腔外科	古川	古川	古川	古川	古川	
		加藤(翼)	加藤(翼)	加藤(翼)	加藤(翼)	加藤(翼)	
	診断科	清水	桐山	清水	桐山	細川	
		濱本	濱本	長崎	神崎	神崎	
予 がん診療科	治療科	原田	首藤(聡)(1週)	-	-	武智	
		-	正岡(2,3,4,5週)	-	-	-	
	予 リンパ浮腫外来	予 リンパ浮腫ケア外来	-	○山下(昌)	-	-	○山下(昌)
			-	リンパ浮腫ケア(自費)	-	-	リンパ浮腫ケア(自費)
予 ストーマ外来	予 原発不明がん診療科	藤山	藤山	垣生	藤山	藤山	
		精神科	-	-	福本	-	
	予 セカンドオピニオン	予 がんゲノム医療外来	○倉田	○倉田/△東※1	○倉田	○倉田	△吉井・船田※1
			循環器内科	-	-	-	-
予 遺伝性がん診療科	予 病理外来	内分泌内科	-	松原※1	-	-	
		糖尿病内科	-	○川村/羽立※1	○高門※1	-	○高門/池田※1
	予 がん看護外来	脳神経外科	-	-	-	○國枝・山下・西川※1	-
		橋根	高津	○橋根	○小嶋	-	
予 がん診療科	予 がん診療科	△青儀	担当医	担当医	担当医	担当医	
		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
	予 がん診療科	予 がん診療科	△山本	○山本※2	○山本	○山本※2	山本
			-	△山本	-	○大住	-
予 がん診療科	予 がん診療科	-	-	-	△寺本	-	
		担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	
	予 がん診療科	予 がん診療科	酒井	徳永	酒井	徳永	酒井
			酒井	徳永	酒井	徳永	酒井

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ☆…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当 ※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。



サザンカ (東温市横河原)  
撮影：高市 瑞穂

外来診療一覧表

- 新患受付時間 7:30~12:00
- 診療時間 8:30~17:15
- 休診日：土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。

当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。

交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後とも患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。



院内にてFREE Wi-Fiがご利用できます。

四国がんセンター【公式】

Facebook



Instagram



四国がんセンター

〒791-0280

愛媛県松山市南梅本町甲160

TEL:089-999-1111

FAX:089-999-1100

<https://shikoku-cc.hosp.go.jp>

TRAFIC ACCESS 交通のご案内



車でお越しの場合

- 松山空港から車で 約45分
- JR松山駅から車で 約30分
- 松山市駅から車で 約25分
- 松山自動車道
  - 松山インターから車で 約20分
  - 川内インターから車で 約20分
  - 東温スマートインターから車で 10分

電車・バスでお越しの場合

